



イノ教団

突如現れた
謎の宗教組織は
あつという間に
世界中に信者を広げ
強大な国と化し
ブリタニア公国に
立ち塞がった

開祖を名乗る男の
非人道的な完全独裁政治
とのことだが詳しいことは
明らかにされていない

探したのよ
ルルーシュ……!

ナナリーの他に
生徒会のみんなや
軍の人間もかなり
行方不明で……

G.O.O.もだ……!

くそ……つ
スザクは何を
していたんだ

まあいい
後悔させてやる
こんなふざけた宗教組織は
完膚なきまでに俺が叩き潰す

……ねえ
ルルーシュ

なんだ?
カレ……





な。。。。。。

カ。。。。カレン。。。。



お前。。。。。。



開祖様：
お楽しみのところ
失礼いたします

親衛隊隊長 紅月カレン
ただいま帰還しました

命令通り：「教え」を与えずに
ルルーシユ・ヴィ・ブリタニアを
捕縛いたしました

ククク：
ボロボロじゃないか
ずいぶん手荒なマネも
したようだなカレン

はい
コイツから開祖様への
抵抗の意思を感じたので
独断で少し痛めつけました

開祖様
私は一時この男と
行動を共にしてました
こいつは危険です
開祖様が命じるのなら
私が今ここで……っ

カレン様
貴様……っ



まあ待てカレン

お前たちも
よく知っていると
思うが
私はとても負けず嫌いでな…

負かした男には
オスとしての違いを
とことん見せつけ
屈服させることを
信条としている

ルルーシュ君の心は
まだ折れていない…

これは久しぶりに
『楽しむ』ぞ…ククク

だいいち…
聞く話によると
どうやらそいつは
不死身の肉体で
殺すことはできない
みたいじゃないか

そうなんだろう？
…C・C・



ああ…♡

イノ教団にようこそ
ルルーシュ♡♡

はじめまして
ルルーシュ君

ああ…すまないね…
このような格好で

私の慈愛を体内に注入する
神聖な儀式の最中でね

君のような
女性経験の浅い男には
刺激的すぎるかもしれんな



まったくお前は
タイミングが悪いな

今いいところ
だったんだぞ...♡

な...なぜだ...
C.C.!!!

なぜ...?
それはこっちの
セリフだ
ルルーシュ

なぜお前のような
下等なオスに私が
心を奪われていたのか

思い出すだけで
背筋が凍る

私はこの男に
救ってもらったんだ
お前からな...♡

とん...とん...♡



ここに捕縛されたとき
私も最初は抵抗したさ

ルルーシュという
男を知っているね？

私が国を広げる上で
いずれ厄介な
敵になりそうなのだ

居場所含め：
詳しく教えて
くれないか？

下衆なやり方だな
何をされても
ルルーシュのことは
話さない

拷問は無駄だ
ま：貴様のような
クズは他にも目的が
あるのだからがな
哀れな男だ

ふふ：誤解しないでくれ
：この素晴らしい
『教え』を受け取れば
きつと君も私を理解し
協力してくれるはずだ：

しかし…
それは私の
間違いだった♡

ふふ…
側近に置く女には…
私の手で直接
『教えてやる』ことに
決めているんだ

え…っ
あ…あ…っ

(な…なんだ…これは…)
(頭に…何か…入ってくる…)
(ギアス…!? …いや…違う…っ…)

(これは…まずい…っ…
やめろ…それ以上入ってくるな…っ
汚れた思考に…蝕まれる…っ)

(ルルーシュ…っ…逃げる…
…っ…戦うな…っ…)

ム…

ルルーシュ…っ…

…なるほど

こうやって脳内に
直接「教え」を送り込む
ことができる…

そうやって
信者になつた者も同じように
片手一つで他者に
「教え」を広めることが
できるようになるのか…

ふふ…爆発的に
信者が増加するはずだ

それにしても…
悪くない経典だ

最初は少し戸惑ったがな…

開祖である
お前以外のオスは
すべて生殖価値のない
劣等種…♡

まあ…一理あるな…♡

イノ教の布教及び
開祖の心身的快樂のために
男は命を…
女は身体を捧げる…♡

これは…
素晴らしい…♡

とろお…♡

ほう：『教え』が
染みわたった上で
私をお前呼ばわりか…
やはり面白い女だ
気に入ったぞ

ふふ…光栄だな…♡

それより…何か
私から聞き出した
ことがあったんじや
ないか…？♡

教えてやらん
こともないが…
場所を変えないか？
もつと…
話しやすい所に…♡

とろお…♡

そうだったっ…
ふふふ…っ♡

あっ…♡あいつは…
ああ見えてっ…♡んっ♡
一線引いた仲間は絶対に…見捨てない
アマちゃんだな…♡んっ♡

だから…っあっ♡

妹の…ナナリーかっ

シャーリー…紅月カレン
あたりを捕まえて

餌にすれば必ず
…んっ♡ ああっ♡

む…向こうからやってくる…ぞっ♡

あっ♡あっ♡ あっ♡あっ♡

なあっ…♡

いいだろっ♡
ここまで…んっ…♡

話したんだ…あっ…♡

ご…ご褒美…っ♡♡♡

あッ♡ あああッ♡

んあああッ……♡ あッ♡

あああッ……♡

…初めてこの男の
『種』を与えられたとき
私は確信した

この男の敵は
私の敵……♡

それはルルーシユ……
たとえお前であつてもだ



C・C…目を覚ませ
そいつは詐欺師だ！
洗脳なんかには屈するな！

…はあ
やれやれ

開祖に歯向かうどころか
詐欺師呼ばわりか
…重罪だな

なあ…こいつにはどうせ
余るほど時間があるんだ

あえて『教え』は与えずに
じっくり…じっくり…
教育していかないか…♡

ふふ…いい暇つぶしになるぞ♡

ルルーシュ
私たちはちょうど今から
着替えるところだったんだ
お前にもお似合いの服を
着せてやる♡

喜べ…♡
イノ教にて
最下層のオスが着せられる
荣誉ある衣装だ…♡

とんぽん♡
とんぽん♡

ふふ…サイズも
ぴったりだな
ルルーシユ

お前はいつか必ずこれを
着ることになると思っ
て先に作らせておいたんだ…♡

どきどき…♡

これは
『強制教育服』
とってな

お前のような
物わがりの悪い男を
心の底から開祖に
服従させるための服だ

お前の知ってる男も
何人か着せられたが…
ひとり残らず屈服したぞ♡

ルルーシユ…
お前はどれくらい
耐えられるかな？

来てくれて
ありがとう
ルル♡

リヴァルはすぐに
壊れちゃって
つまんなかったから…♡
ルルはちゃんと
開祖様を楽しませてね♡

ほおら…♡

よく見て…♡

私たちが信じる
このおチンポ様…♡

今から私たちが
全身を使つて…♡
中に詰まった
聖液を取り出すから

ルルはそこで
勃起してて…♡

ふふ…どうした？
もう息が荒いぞ
先が思いやられるな…♡

ルルーシュ
先に言っておくが
私は上手いぞ…♡

射精させないのがな♡

誇り高き騎士公も…♡
聡明な学者も…♡

拷問の痛みは耐えても…
この服を着せ二滴ずつ
たらすように快楽を
与えるとみな狂った…♡

今から開祖の儀式を
見せつけながら
これをいじってやるが…

絶対に射精は
させんぞ♡

ふふ…今からお前らの体の中に入る大事な神の一部だ

そうそう…
ゆっくり…強く…
つばをたつぷり使い
舐めなさい…

上手くなったな
カレン

あ…ありがとうございます…♡
ございます…♡

カ…カ…
カ…カ…

シヤ…リ…も
相変わらず流石だ
毎日使ってやってる
甲斐があるというものだ

えへへ…♡
開祖様のおかげです♡

ふたりともいい子だ
あそこでチンポ
ひっかかれてる
男にはもつたいない

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

あの…開祖様…
そろそろ…♡

ふふ…そうだな
カレンは今日手柄を
立ててくれたことだし
先に使つてやる

は…はい!

えー
ずるーい…♡

シャーリーも
大好きなバツクで
たくさん注入して
あげよう

やった♡

それにしても
たまらん景色だ
これをひとりじめ
していては罰が当たる
というものだな

ふふふ…そうだ



どうだいルルーシユ君
素晴らしいだろ
私の見ている世界は

君にも特別に
共有してあげよう

…ま 開祖様と違って
アンタのチンポは
ゴミ袋の中だけど

ル
女の子にちゃんと
おチンポ相手
してほしかったら
イノ教の修行を
いっぱい積まなきゃ
ダメなの

開祖様の
セックスを見学することも
修行の二環だから
邪魔にならないよう
部屋の隅っこから見て
しつかり勉強してね

ふふ…
サディストめ…

もう射精そうと
思えばいつでも
射精せるところ
まできてるぞ
これは…

そ…それでは…♡
親衛隊長長…紅月カレンが
お相手を務めさせて…

はっはっは
固いぞカレン

だ…だって…
開祖様に…
久しぶりで…♡

私のために戦地を
飛び回ってくれてたからな
本当に…君は私の一番の
部下だよカレン

か…
開祖さまあ…♡

キュン♡



はいっ♡♡♡♡

たん♡

たん♡

たん♡

ふふ…っ♡
いいぞ…

カレン…君は
入信前はもっとも抵抗を
見せてきた女だった…っ♡

す…
すみませんでした…っ
あの時は…私…
おかしく…っ♡

たん♡

はき

はき

たん♡
いいんだ…それだけに
自分のモノにした今
この優越感は格別…っ♡

もうルルーシユへの
想いは微塵も
残っていないのだな…っ♡

ぬっ♡
ちゅ♡



もちろんです…っ♡

私の身体も…っ♡
力も…っ♡すべてあなたのもの…っ♡

たん♡

たん♡

たん♡

ルルーシユなんてもう…
アレ着ちやつたし…っ♡
オスとして意識できない…っ♡

ジノと一緒に…っ♡

たん♡
ふっふっふ…そういえば
ジノ・ヴァインベルグも
教育服を着せて…アーニヤと
三人でおもちゃにしたな…♡

たん♡
いい思い出…♡

ええ…っ♡
旧ブリタニアの男が
いもむしみたいに
射精を哀願して…♡
最高だったわ…っ♡

ぬちゅっ♡
ちゅっ♡



あの…開祖様…っ♡
お願いがあります…っ♡
ルル…シロが見てる前で
私と…キスしてください♡

私…昔アイツと
しちゃった
ことがあって…っ
だから…っ♡

たん♡ たん♡
たん♡

あいつが
見たこと
ないよう
なやつを…っ♡

いいだろう…カレン
彼に見せつけて
あげなさい…
今の君の気持ちを…♡

たん♡ たん♡
たん♡
はい…っ♡
おっ…おうち…っ
失礼します…♡

たん♡ たん♡
たん♡



あつ...あつ...あつ...
あたたかい...
ああつ...
か...開祖様...
好き...好きです...
愛してます...
♡

は...
ずっと...
あなたのそばに
いさせて...
♡

あなたの...邪魔を
するやつは...
私が...殺すから...
♡

ありがとう
カレン
これからも
頼むぞ

あああああつあつあつ...
♡♡♡

あつ...
イクッ...イクミ...

は...
♡

♡...ふふふ♡

おいおいルルーシユ君…
もう自分で立つて
いられなくなったのか

ああ お前がカレンと
キスしだした時くらいから
小鹿のように足が震えだして
立てなくなった

とりあえず床オナをしないよう
仰向けで押さえつけていたが…

思っていたより
ヤワだなルルーシユ

ふふ…まだまだ
これからだよ
ルルーシユ君

…ちようどいい

シャーリー
先日私がミレイと
したアレ…やるぞ

大丈夫か？
休憩なしで

こいつ…
死ぬぞ♡

くく…C・C・
君がルルーシユを
死ねない身体に
したんだろう
この悪女め

あああああ…
そうだったな♡

よいしょ…っ♡

開祖様 準備OKです♡

ルル…ごめんね♡
今から開祖様に後ろからおチンポ挿れてもらうんだけど…♡

こんなに身体が近いとね
ルルの脳がセックスしていると勘違いして
興奮物質いっぱい出しちゃうの♡

でもルルはまったくおちんちん
気持ちよくなれないし
もちろん射精もできないでしょ？

ぐいっ

だから…
壊れちゃうんだって♡

リヴァルは
会長にこれされて…
ヘンになっちゃった♡

ふふふ...♡

もうルルったら...
おっぱい見すぎ♡

そんな欲しそうな
顔したって...
これは開祖様の
ものなんだから♡

女性に触りたいとか
オナニーしたいとか

そんなワガママ
ルルの身分で
言っちゃダメ♡

ルルみたいなの
最下層の男性は
勃起させて
いただけのだけで
開祖様に
感謝しなきゃ♡

...ね♡

どん...
ん...
ん...

ああ…っ♡

見て…ルル…♡

おチンポ様ゆっくり…
入ってくる…っ♡ん…♡

目をそらさないで…♡

ね…ねえ…♡
ルル…♡

こんな近くで…
発情しきった
女の子達に…
囲まれて…♡

いっぱい交尾…♡
見せつけられて

それなのに
自分は射精すら
できないって…
ふふふ…♡

ルルの負け…だね♡

あっ……♡ あっ♡ あっ♡

あっ♡ あんっ♡ ああっ……♡

シヤァーッ
どうだ
彼の様子は？

あ……♡
ルルは……♡

顔……真っ赤で……♡
すっごく……♡
苦しそう……♡

それなのに……♡

私の揺れてる
おっぱいと……♡
開祖様と繋がってる
ところから……♡ あっ♡

目が離せない……んっ♡
みたい……♡

ふふ これまで
『ゴミ』になつて
しまった男達と
見事に同じ反応だな
いいぞ
もつともつと
彼を煽りなさい



は…はい♡

ねえ…ルルっ♡ ほらっ♡

ルルも…開祖様と一緒に
腰動かしてっ♡

セツクスしてる
と思っ…っ♡ いいよっ♡

あっ♡ んっ♡ あんっ♡

開祖様の
ピストンの動きに
合わせて…っ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

あははっ♡♡
そうそう…っ♡

リヴァルより
上手よルル…♡♡

負けオスの…
エツチごっこ♡

ルルっ♡あんなに
頭がよかったのに…♡

もうっ♡ あっ♡
おちんちんのことしか
考えられないのねっ♡

…♡かわいいそうっ♡♡



ふふ…
どんなにキレイる男も
射精をさせないだけで
知能は著しく低下する

特に：想っていた女の
こんな姿：声を前にしての
我慢を強要されればな

あっ…♡ ああっ♡ あっぞっぞです…♡

おっっ♡ きもち…♡♡♡♡♡ ああっ♡♡♡

あっ♡ あっ♡ あっぞっぞっ♡

ほんっ♡

ほんっ♡

ほんっ♡

ほんっ♡

ほんっ♡

ほんっ♡

こいつの脳みそは
もうスカスカ
まともな思考力は
残っていない

やはり
このプレイは最高だ…♡
女はそいつを大切に思う
男の目の前で犯すに限る♡
自分の中の
暴力的なオスの本能が
満たされる…♡♡

あっ……♡ あああ……♡

ごめ……ルル……もう……
相手してる……余裕……ないっ♡♡

か……開祖……さま……っ♡♡
私……そろそろ……っ♡♡♡

あ……あああ……ああ……♡

ふふ……
いいだろう

ルルシーユ君
最後はもつと近くで
私のシャーリーを
楽しんでくれ

シャーリー……♡

こいつの耳元で
彼が自力では一生
手に入ることの
できないメスの声を
聞かせてやりなさい……♡
いくぞ……♡

おのの……♡

お兄様…お久しぶりです♥

元気そうな姿で良かったです
ずつと心配していたのですよ…

お兄様が
偉大な開祖様へ反乱を
起こすのではないかと…♥

ふふ…♥
安心しました♥

今のお兄様であれば
そんなことを企てる
頭も気力も…仲間も
おりませんね♥

(ナ…ナナリー…ツ)

(この男…ツ!
ナナリーにまでこんな…
絶対に許さんぞ…ツ!!)

(必ず…必ず地獄に
たたき落としてやるツ!!)

じゃあ開祖様
やっちやいますね



良かったわね
ルルーシユ♡
大好きなナナリーに
見てもらえるわよ♡

開祖の命令だ
喜べ…シゴいてやるぞ♡

ん？どうした？
さっきまであんなに
シコリたがっていた
じゃないか♡

流石にナナリーを
オカズにチンポ快樂
楽しむのは
気が引けるか？

ス…♡

ス…♡

ダメだ…♡
拒否権はない♡

貴様は…抜きたいと
願っても抜けないし

抜きたくないと
願っても抜かれる…♡

大人しく
シコられている♡

オオ…

オオ…

わあ……♡
良かったですね
お兄様♡

その服を着せられる
ような男性は
女性にチンポを
直接触っていただけ
機会なんて滅多に
ないんですよ♡

それも
カレンさんやC・C・さん
のような位の高い
女性にしていただけ
なんて……♡

開祖様の慈愛に
感謝ですねお兄様♡

地下牢でいっぱい
オカズに使うための
思い出ししてください♡

イエス・ユア
マジエステイ...

指でちよんちよん
してるだけで
相当辛そうだけど...

大丈夫なのコイツ?

オツケー

ゆっくりり...
ゆっくりりね

カレン
シーツC.C.!

私はこつちを
全力で楽しむ♡
そつちは
まかせたぞ♡

気をつける
相当敏感になっている♡
あまり強く握ると
一気に精液吹き出すからな♡

今のこいつなら
包むように手を添えて
皮を軽く上下させるくらいが
ちようどいい♡

それじゃあ
ルルーシユ...
お待ちかねの
時間だ...

どえん♡
どえん♡





おいおい
ルルーシユ…

こんな軽く指で
つまんでるだけで
射精してしまうなら
お前に女性器など
一生必要ないな♡

あ…っ
こいつもうイキそうね…
本当にこんなんで…
チヨロくていいわね♡

ふうん…♡それが
アンタのイク時の顔…♡
マヌケね…♡

まあ…元々
女を喜ばせる
機能などない
独りよがりの
オナニー棒か

ほら…
数えてやるぞ
ルルーシユ…♡

お前が人生最高の
絶頂を手にするまで
まであと…♡

ナナリー…ッ
すまない…ッ…

10…9…
8…7…♡

俺は…ッ
俺はあ…ッ!!♡

あああ…あ…

あああああああ!!

なぜだッ…手を
止めるなッ
もう少しで…ッ
きさまらあッ…!!♡

残念…ルルーシユ♡
このまま気持ちよく
射精せると思った?

流石ねC.C.
タイミング完璧♡

あと2往復も
コキ続けていけば
射精していたな…

言ったら
ルルーシユ…♡

お前は射精
させないと…♡

覚えときな
マゾ男

この部屋で精子を
出していいのはね…♡

私たちの開祖…
ただひとりだけだ♡

どろみ

あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡
あゝ♡

あ…あ……

もう…俺は…ダメだ…

何も… 何も…考えられない…ツ

誰か…誰でもいいから…ツ

何でも言うこと聞く…ツ

射精………させてくれ………ツ♡

あはは なに？
ルルーシユ♡

情けなくチンポ
ふりふりして♡

私たちに精一杯
ゴミチンポアピール
してどうすんの？

なんだ？
ナナリーで射精は
したくなかったん
じゃないのか？

お望み通り
途中で止めて
やったんだぞ

どうする？
これ

しばらくして
落ち着いたら
またシゴいてやるさ…♡

精液が出る
ギリギリの直前まで…
何度も…何度も繰り返し…♡

脳みそがぐちゃぐちゃに
とろけるまで…♡

お兄様...♡
しつかり見届けて
いただけましたか?♡

私はこのように...
開祖様に多大な愛情を注いで
いただきとても幸せな日々を
過ごしています♡

お兄様はもう...
必要ありません♡

それは
私からの
プレゼントです♡

開祖様が遊ぶための
おもちゃとして...♡

壊れるまで
その身を使い果たして
くださいね♡



おいルルーシユ
アンタちゃんと
聞こえてる？

無理もない…♡

17回も射精直前に
寸止めされたんだ♡

今は意識なんて
ほとんどないので
あろう♡

ねえシーツ…

さっきこいつの
身体が思いつきり
跳ねた時…あれさ…♡

ああ…コイツ
途中で一度
死んだぞ…♡

憤死というやつか？

まあ…
すぐに復活
したかな♡

へえ…

厄介だと思ったけど…
マゾおもちゃとしては
優秀なのね…
不死身の男って♥

あ…こいつ
また気絶するわよ

ふふ…
起きたらすぐに続きだぞ
次はもっと開祖や私たちを
楽しませてくれよ…♥

なあ…
ルルーシュ…♥

俺の
教育はまだ

始まった
ばかりだ—